

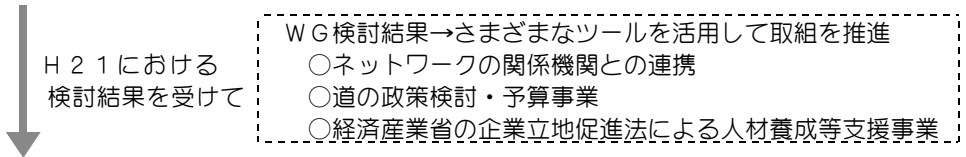
「企業のものづくり人材育成強化ワーキンググループ」の検討状況について

現状と課題

- 企業が付加価値の高い製品を市場に供給し競争力を高めていくためには、専門技術の高度化、多様化を図ることが重要であることから、専門性を有する技能者や技術者の育成を進めるとともに、特に、地場企業の自動車産業や電気電子産業等への参入に当たって、これらが求める品質やコスト、納期等に対応していくための人材の育成が必要
- 国、教育機関、人材育成機関など様々な機関で産業人材の育成に向けた取組が行われていることから、これらの一元的な情報提供が重要

検討テーマ

- ◎関係機関が連携した共同事業
  - ・各構成機関が役割分担のもと、特定の仕上がり像を目指した機能的な研修の実施
  - ・自ら考え自ら課題解決できる人材の育成
  - ・産業人材育成ネットワークのHPの充実
  - ・人材育成優良事例の作成
  - ・産業人材育成ガイドブックの作成
  - ・関係機関共同によるテーマ別研修
  - ・講座情報の提供・その他の共同事業の検討



H 2 2 取組内容

- 関係機関が連携した共同事業
  - ①人材育成支援セミナーの開催《非予算事業》
  - ②産業人材育成ネットワークのHPの運営《非予算事業》
- その他
  - ①QCサークル活動導入実践事業《地域企業立地促進等事業費補助金（国）》
  - ②アルミニウム利用技術研修《地域企業立地促進等事業費補助金（国）》
  - ③高度プレス加工技術研修《地域企業立地促進等事業費補助金（国）》
  - ④鋳造技術高度化研修《地域企業立地促進等事業費補助金（国）》
  - ⑤品質工学（タグチメソッド）研修《地域企業立地促進等事業費補助金（国）》
  - ⑥3D-CAD設計技術者育成講座の実施《地域企業立地促進等事業費補助金（国）》
  - ⑦業界対応型オーダーメイド専門研修の実施《現場力養成実践研修事業（国）、「どさんこ塾」人づくり推進事業（道）》

H 2 2 検討の方向性

- 【継続検討項目】 ○関係機関が連携したセミナー・研修等の実施  
○企業ニーズに対応した企業のものづくり人材の育成強化策
- 【新規検討項目】 ○環境関連などものづくり企業としての対応と人材育成  
○その他新規項目の洗出し

H 2 2 検討の経過

- ・階層別・レベル別研修セミナー一覧については、関係機関から集められたデータとしてそのまま使える。なお、内容が常に最新となるよう、その都度更新が行われていく必要がある。
- ・人材育成関連研修マッチング事業については、企業にとって必要となる研修が分かりやすく明示されている。
- ・研修実施機関の一覧を作成、配布することによって、利用者の個別のニーズに対応できるのではないか。
- ・企業訪問時に、どこでどんな研修を実施しているかが分からないという声、人材育成を行いたいけどどこに情報があって、どうすればよいのかがわからないという声を良く聞く。

WGメンバー

北海道経済産業局、北海道労働局、中小企業基盤整備機構、雇用・能力開発機構、北海道経済連合会、北海道機械工業会、北海道中小企業総合支援センター、北海道職業能力開発協会、北海道立総合研究機構産業技術研究本部工場試験場、北海道（人材育成課・産業振興課）

開催実績

H 2 0 年度	
第 1 回WG	H 2 0. 1 0. 2 0
第 2 回WG	H 2 0. 1 2. 1 8
第 3 回WG	H 2 1. 2. 9
H 2 1 年度	
第 1 回WG	H 2 1. 9. 1 5
第 2 回WG	H 2 1. 1 2. 4
第 3 回WG	H 2 2. 2. 1 0
H 2 2 年度	
第 1 回WG	H 2 2. 7. 2 6